

ふるさと三原の博士をめざして

自然や歴史、産業などの体験学習を通じて子どもたちの郷土愛を育てる、三原ふるさと子ども博士講座が、先月13日に開講しました。

開講式で永井教育長は、「何か一つでも興味を持ち、全員が博士になることを楽しみにしています」とあいさつしました。

その後、「見たか新高・三原の山城跡に登ってみよう」と題した第1回目の講座が行われました。小学3～6年生36人が、各ポイントで学芸員などから説明を受けながら、新高山城跡(本郷町)を約1時間かけて登りました。参加した本郷小6年の本林桃華さんは、「疲れたけど、昔の人の暮らしぶりが理解で



▲甲冑に身を包んだ講師から、当時のようすを聞く子どもたち

きた」と話していました。

申し込み総数115人から選ばれた40人の小学生は今後、ふるさと三原の博士をめざして、小佐木島や久井町の宇根山天文台、大和町の企業などを訪れます。

ストックヤードが開場 古紙類を再資源化



▲古紙類を一時的に保管し、再資源化につなげるストックヤード

先月14日、清掃工場敷地内に、古紙類を一時的に保管する施設(ストックヤード)が開場しました。

これまで清掃工場で焼却していた古紙類を、この施設で保管し再資源化につなげます。

清掃工場へ直接搬入する可燃ごみのうち、次の対象品目に当てはまるもの

は、分別して搬入してください。

開場時間 8時30分～12時、13時～16時30分

※清掃工場の開場時間と同じです(年末を除く)。

ところ 清掃工場敷地内(八坂町)

対象品目

▼古紙類(汚れた物、ぬれた物を除く)



- ①新聞紙(チラシ・コピー用紙を含む)
- ②雑誌
- ③ダンボール(二辺の長さが1m以内のもの)

※雑がみ類(包装紙・紙袋など)、感熱紙、ノーカーボン紙、合成紙、防水加工された紙、タオルペーパーは搬入できません。
※必ずひもで縛り、片手で持てる量(おおむね10kg以内)としてください。

▼布類(汚れた物、ぬれた物を除く)
古着類(毛布・布団・カーテンは除く)

※ひもで縛るか中身が見える袋に入れ、片手で持てる量(おおむね10kg以内)としてください。

利用料 無料

環境管理課 清掃工場

☎0848・62・4197

イオン三原店・フジグラン三原と津波避難の覚書を締結

先月15日、イオン三原店、フジグラン三原と津波一時避難場所の指定に係る覚書を締結しました。

覚書では、市内で津波被害発生の際がある際に、両店舗の駐車場を市民の皆さんの一次避難場所として利用できるよう定めています。

締結式で五藤市長は、「津波から市民の皆さんの生命を守るためには、避難場所が必要不可欠です。今後は訓練などを実施することで、協定の実効性を高めていきたい」と話しました。また、両店舗を代表して、イオン三原店の川西一機店長が、「今回の覚書が、地域の皆さんの安全と安心につながればと思います」と述べました。



▲覚書を締結し握手を交わす、フジグラン三原八石店長(左)、五藤市長(中)、イオン三原店川西店長